



令和7年度 名古屋市千種文化小劇場運営報告

令和7年12月末時

■ 公益財團法人 名古屋市文化振興事業団 [千種文化小劇場 [ちくさ座]]

01

令和7年度～令和11年度 5カ年間のビジョン

令和6年度に行われた名古屋市文化小劇場指定管理者選定により、令和7年度からの5年間を、引き続き(公財)名古屋市文化振興事業団が管理することになりました。

「劇場のある魅力的なまち」を目指し、安心安全な施設運営、魅力ある施設事業を通して、地域への貢献を継続してまいります。

他分野連携・協力

他の劇場や文化芸術関係者だけでなく、他分野の事業者と連携・協力し、これまで培ってきたノウハウの提供、先方との相乗効果により、活気あるまちづくりを目指します。

市民参加・協働

舞台芸術に興味がある市民に、経験豊富な実演家が指導するだけでなく、ともに舞台を作り上げることでコミュニティーが盛んになり、豊かな人生経験となるよう取り組みます。

文化芸術の普及

劇場のみだけでなく地域へ発信することで、身近に文化芸術を感じてもらう機会を提供、興味や関心を持ってもらい、地域の文化的環境を育んでいきます。

劇場特性・魅力発信

特徴ある円形舞台そのものや、それを活かした鑑賞機会・情報発信により、実演家や多くの市民に、劇場の愛着、地域の誇りの輪を広げます。

次世代育成

舞台芸術に興味がある若者への出演機会の支援、ワークショップによる教育、ならびに、舞台鑑賞機会が少ない若者へのアプローチなどにより、次世代アーティストや鑑賞者の育成につなげます。

02

令和7年度事業報告(12月末時点)

実施月	事業名
4月	ちくさボランティアフェスタ2025
5月	A Cappella Mania
6月	劇場パートナー Chikusa Round Voices Gospel Concert「GRACE」
	みる・まなぶ・ダンス！(1回目)
7月	地域公共劇場連携事業「りすん 2025 edition」リ・クリエイションツアー
	おでかけぶんしん(1回目)
8月	012シアター「こどもなんなかコンサート」
	スマイルギフト
9月	ちくさ・ザ・LVE! 「ステキナトリオ『ステキなコンサート』」
	朗読・演劇ワークショップ発表公演「私の声はモノガタリのために2025」
	みる・まなぶ・ダンス！(2回目)
10月	「千種区女性芸能祭」
	アウトリーチ①「ちくさ生涯学習まつり」
12月	Un"limb"ited Dance 2025
1月	おでかけぶんしん(2回目)
	アウトリーチ②「モビリティゲート吹上」
2月	ワークショップ「ドラマ・イン・エデュケーション(DIE)」

4月

ちくさボランティアフェスタ2025



千種区社会福祉協議会と連携し、千種区を中心にボランティア活動をしている団体を紹介、交流を目的とした事業。当劇場と隣のモビリティゲート吹上の会場を使って、約14団体が参加。実演や活動紹介などを披露しました。

「このような催し紹介をはじめて知りました。今後の自分の活動の参考になります。音楽などもあって、長時間でも楽しめました 高齢者の生き甲斐にもなると思います。」「防災啓発活動講座の簡易トイレの使い方の実演は大変勉強になりました。」

開催日 4月25日(金)、26日(土)
来場数 238名(延べ、千種文化小劇場)
満足度 76.2%

主 催 (社福)名古屋市千種区社会福祉協議会
共 催 (公財)名古屋市文化振興事業団・千種文化小劇場、トヨタモビリティ中京(株)



5月

A Cappella Mania



市内の音楽事務所と協力し、アカペラに情熱を注ぐグループを公募、22のグループによる「アカペラ漬」と、市内でアカペラ部を持つ愛知県立千種高等学校の学生による「ちぐペラフェス」の2公演を開催。円形ステージに立つ喜びやグループ同士の交流などでモチベーションを上げ、次世代アーティスト育成を目的とした事業。

「演奏のクオリティがとても高かったのと、ステージングが凝っていてすごかったです！」
「どのグループもそれぞれ個性があり、とても見応えがありました。円形ステージは演者との一体感もあって、アカペラ漬け最高でした！」

開催日 5月3日(土)「アカペラ漬」、4日(日)「ちぐペラフェス」

来場数 369名(延べ)

満足度 92.5%

主 催 二宮音楽事務所

共 催 (公財)名古屋市文化振興事業団・千種文化小劇場

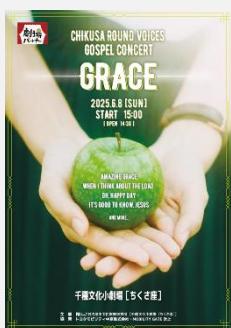
協 賛 トヨタモビリティ中京(株)



6月

劇場パートナー

Chikusa Round Voices Gospel Concert「GRACE」



江崎理子氏を講師に、千種文化小劇場が劇場パートナーとして立ち上げたゴスペルクワイア。通年事業として、毎月2回の練習を重ね、毎年1回の発表公演を開催。今回は、ベースやパー カッションのゲストミュージシャンを加え、音楽に厚みを増したコンサートになりました。

「皆さん、エネルギー的に歌ってみて、パワーをいただきました。」

「ゴスペル迫力あり素晴らしいです。また色々な年代の方々が心から音楽を楽しめいる姿がまた格別に素敵です。」

【ワークショップ】

開催日 毎月2回(年24回)

参加者数 約25名

【コンサート】

開催日 6月8日(日)

来場数 157名

満足度 88.0%

主 催 (公財)名古屋市文化振興事業団・千種文化小劇場

協 賛 トヨタモビリティ中京(株) (コンサート時)



6月・9月

みる・なまぶ・ダンス！



区内公立幼稚園にコンテンポラリーダンスの石原弘恵氏(清州MDA)を派遣し、未就学児の身体発達への刺激と、創造性を膨らます事業。

子どもたちの豊かな発想をもとに全員でダンスをつくり、一緒に踊ることで、芸術の自由さや楽しさを、子どもたちに体感していただきました。

「全員が発言できるように、まんべんなく子どもたちに話を振ってくださったのがうれしそうでした。」

「『自分たちでできた！うれしい！』と達成感を感じることができた様子がよかったです。」

開催日 6月16日(月)、9月24日(水)

会 場 名古屋市立第二幼稚園

主 催 (公財)名古屋市文化振興事業団

共 催 名古屋市教育委員会



7月

地域公共劇場連携事業「りすん 2025 edition」リ・クリエイションツアー



2023年に当劇場にて公演された「りすん」の再演。諏訪哲史氏の原作を、天野天街氏が脚色・演出した舞台作品でしたが、天野氏が2024年に亡くなり、ともに同作品に関わってきた小熊ヒデジ氏によって、意志や技術を継いだ公演となりました。

出演は、前回と同じ、加藤玲奈、菅沼翔也(ホールボーズ)、宮璃アリ(少年王者館)。

名古屋(4公演)・岡山(3公演)・多治見(3公演)・伊丹(3公演)の公共劇場が連携し、全13公演のツアーとなりました。

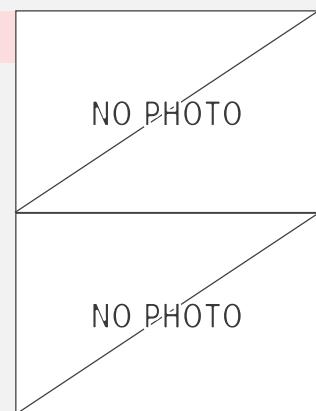
開催日 7月11日(金)、12日(土)、13日(日)【名古屋4公演】

来場数 509名(名古屋・延べ)

満足度 89.7%(名古屋)

主 催 (公財)名古屋市文化振興事業団・千種文化小劇場(名古屋)

助 成 (一財)地域創造



7月・1月

おでかけぶんしん



劇場へ足を運ぶことが困難な方たちに、芸術に触れる機会をつくるため、福祉施設などにアーティストを派遣する事業。
クラウンのプレジャーBによる多彩な芸で、会場を盛り上げました。



開催日 7月4日(金)、1月16日(金)
会 場 介護付有料老人ホーム らくえん春岡館
主 催 (公財)名古屋市文化振興事業団

8月

012シアター「こどもまんなかコンサート」



未就学児とその家族がともに楽しむコンサート。今回は、2025年に、名古屋市公式「子どもの未来全力応援」アンバサダーに就任したステキナトリオとうたのおねえさん凌花による、童謡から流行りの楽曲まで、親子になじみのあるものを選曲したほか、バイオリン演奏の体験をするなど、思い出づくりとなる内容となりました。

「子供が自由に動き回れる様沢山声掛けもしてください、一体感のあるとても素敵なおコンサートでした。」「床席があり、赤ちゃん連れにはありがたかったです。」

開催日 8月22日(金) 2回公演
来場数 198名(延べ)
満足度 100%
主 催 (公財)名古屋市文化振興事業団・千種文化小劇場
協 賛 ジュニアクラブ千種教室



8月

スマイルギフト



子どもたちが置かれている環境に左右されずに、文化芸術に触れる機会を得られるよう、経済的支援を必要としている子どもたちへ、劇場での公演鑑賞体験をプレゼントする事業。ひとり親家庭や児童養護施設の子どもたちに贈り、地域とのつながりの中で、子どもたちに笑顔と感動を届けることを目的としています。

対象公演 012シアター「こどもまんなかコンサート」
来場数 3名
主 催 (公財)名古屋市文化振興事業団



9月

ちくさ・ザ・LIVE!「ステキナトリオ『ステキなコンサート』」



名古屋市公式「子どもの未来全力応援」アンバサダーに就任したステキナトリオは、こどもをメインとして活動していますが、012シアターの対となる、大人向けコンサートとして開催。アーティストの実力を直接感じていただき、グループの魅力向上につなげました。

「温かい音と演奏に癒されました。また大人向けのコンサートぜひやってください。」「間近でヴァイオリンの演奏を聞く機会もなかなか無く、ピアノやギターと合わせた音も素敵でした。3人の温かい雰囲気がとても心地よいコンサートでした。」

開催日 9月12日(金)
来場数 73名(千種文化小劇場)
満足度 97.3%
主 催 株式会社エスディ
共 催 (公財)名古屋市文化振興事業団・千種文化小劇場
協 賛 トヨタモビリティ中京(株)



9月



朗読・演劇ワークショップ & 公演「私の声はモノガタリのために2025」

実演家と市民による共同制作として、刈間力オース氏(刈間演劇設計社)、二宮信也氏(星の女子さん)、大脇パンダ氏(劇団B級遊撃隊)を講師に、5月より朗読と演劇ワークショップ、9月に発表公演を開催。参加者は、演劇の基礎や技術を教わりながら、演技を交えた朗読を3作品公演し、プロの俳優と一般市民が協力して作品づくりに臨みました。

【ワークショップ】

開催日 6月より全12回
参加者数 23名

【発表公演】

開催日 9月26日(金)
来場数 153名
満足度 77.6%

主 催 なごや芝居の広場
共 催 (公財)名古屋市文化振興事業団・千種文化小劇場
協 賛 トヨタモビリティ中京株(発表公演時)



10月

千種区女性会「千種区女性芸能祭」

千種区地域女性団体連絡協議会と連携し、踊りや歌などの練習に励む区民の発表の場。舞台の使い方や段取りなどを説明するとともに、日ごろの練習成果を舞台で発揮できるよう、進行が円滑になるようサポートしました。

「晴れの舞台で年齢を感じない発表でした。踊り・歌、皆口ずさめるようなものが楽しくて良いなと思いました。」「演目がバラエティにとんで、楽しかったです。」

公演日 10月22日(水)
来場数 130名
満足度 91.7%

主 催 千種区地域女性団体連絡協議会
共 催 (公財)名古屋市文化振興事業団・千種文化小劇場



10月

アウトリーチ① 「ちくさ生涯学習まつり」

千種生涯学習センターに協力し、同センターのまつりのステージ演奏の1つに、アコーディオン奏者の橋川宗明氏を派遣。

日ごろ、芸術文化に触れる機会が少ない方々に、直接、感じていただき、芸術文化への興味を深めていただきました。



開催日 10月25日(土)・26日(日) (千種文化小劇場は25日のみ)
会 場 千種生涯学習センター
主 催 ちくさ生涯学習まつり実行委員会、千種生涯学習センター



12月

Un"limb"ited Dance 2025

障がい者と健常者らによる合同のダンス公演。昨年までのタイトル「ライブパフォーマンス」から、四肢(=リム)の限界なし(アンリミテッド)という意味をこめた造語に改名。ゲストに、ボイスパフォーマーの白樺八青氏を迎え、新しい舞台表現の挑戦と、観客と出演者が一体となった公演になりました。愛知・名古屋2026大会公認文化プログラムに申請。

はじめて拝見いたしました。表現するって素敵だなと思いました。車いすだから特別ということではなくて、自然と一緒に踊れるんだな、社会もそう自然になると良いなと思いました。ありがとうございました。

開催日 12月14日(日)
来場数 131名
主 催 ダンスサークルトライアングル、車いすダンス名古屋ビバーチエ
(公財)名古屋市文化振興事業団・千種文化小劇場



1月

アウトリーチ②「モビリティゲート吹上」(開催予定)



開催日 1月24日(土)
 会 場 モビリティゲート吹上 2階
 主 催 トヨタモビリティ中京株・モビリティゲート吹上
 協 力 (公財)名古屋市文化振興事業団・千種文化小劇場



2月

ワークショップ「ドラマ・イン・エデュケーション(DIE)」(開催予定)



小学生を対象としたワークショップ事業。演劇体験を通して学びを深める「体験型学習」。
 俳優・演劇WSファシリテーターの丹羽美貴氏を講師に迎え、授業で取り扱う内容をもとに、
 創作や演技など、子どもたちの自由な発想や創造性を大切にし、他者への理解、表現力を
 養うことを目的としています。

プログラムA「昔ばなしから、オリジナルげきをつくろう！」
 プログラムB「物語のつづきを考え、げきにしてみよう！」

開催日 2月1日(日)
 主 催 (公財)名古屋市文化振興事業団・千種文化小劇場
 共 催 株うりんこ
 協 賛 日響楽器(株)



※写真は昨年度の様子

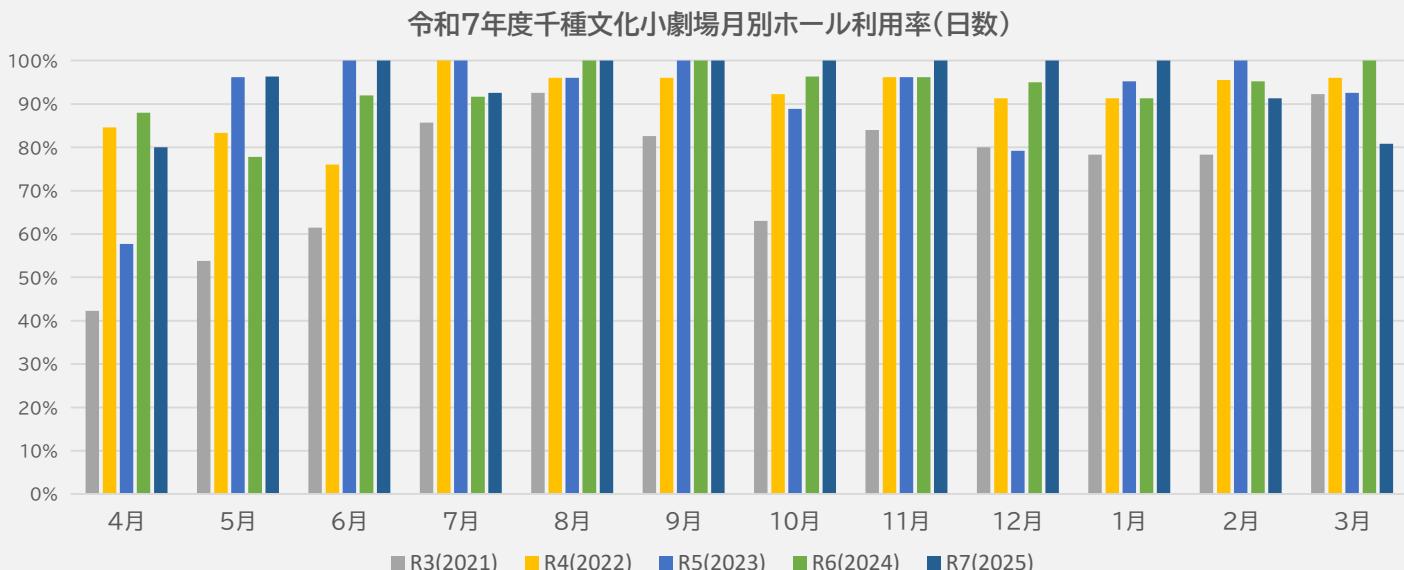
03

令和8年度事業予定 (令和7年12月末時点)

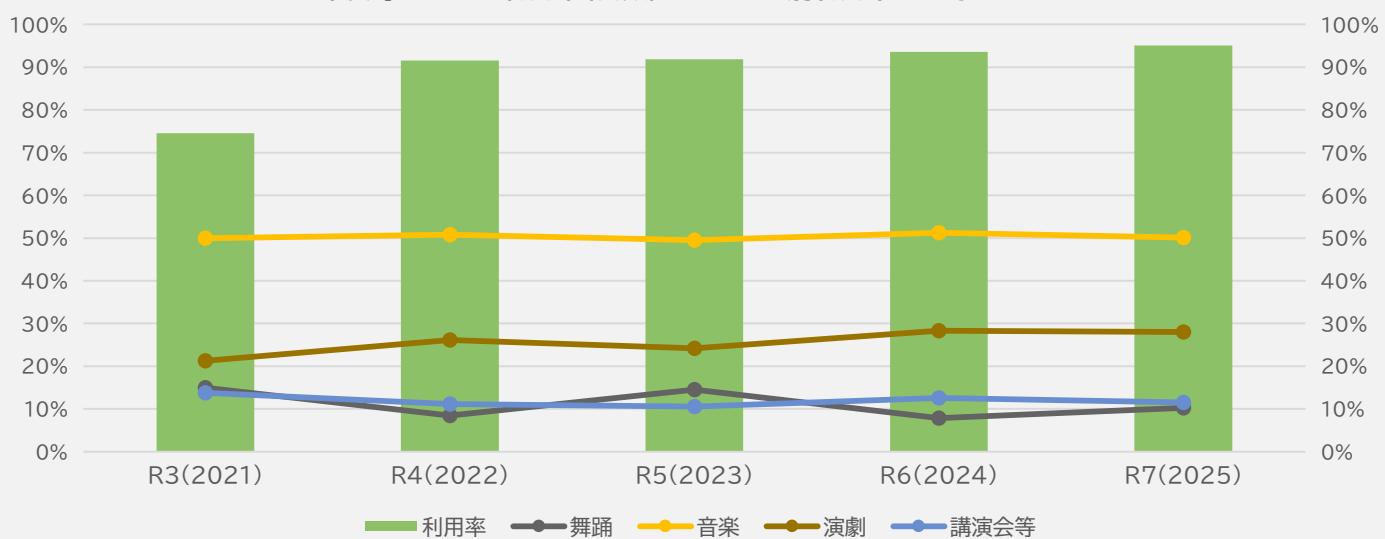
実施月	事業名
5月	A Cappella Mania
6月	ミニオーケストラ・ピクニック
6月	劇場パートナー Chikusa Round Voices Gospel Concert
8月	揚輝荘連携演劇公演
9月	朗読・演劇ワークショップ発表公演
10月	「千種区女性芸能祭」
11月	ちくさ・ザ・LIVE! 「伊藤寛哲カルテット」
12月	Un"limb"ited Dance 2026
1月	012シアター（出演交渉中）
1月	ワークショップ「ドラマ・イン・エデュケーション(DIE)」
調整中	アウトリーチ
調整中	みる・まなぶ・ダンス！
調整中	おでかけぶんしん
調整中	スマイルギフト

04

ホール利用状況(令和7年12月末時点、令和8年1月から3月は予測)



年度毎のホール利用率(日数)とジャンル別利用率(申込毎にカウント)



令和3年度はコロナの影響をまだ残しておりましたが、令和4年度以降のホール利用率は、90%以上の水準を維持しており、令和7年度は、6月と8月から1月において100%(日数)になり、直近5年間で、一番高い利用状況となりました。

ジャンル別でみると、音楽と演劇の利用が高い水準を維持している中、舞踊もわずかながらに増えており、年間の利用率を上げる要因となったと考えられます。

05

まとめ

千種文化小劇場指定管理者として、(公財)名古屋市文化振興事業団が、本年度から新たな5年間の管理運営を受託しました。

引き続き、安心・安全な舞台運営に努め、円形舞台として特徴ある当ホールが、様々な実演家(団体)の皆様にご利用いただくこと、あわせて、多くの劇場とは異なる観劇の魅力が伝わるよう努めてまいります。

事業では、他分野事業者との連携を強化。千種区社会福祉協議会と協力し、ボランティアフェスタを初開催。企画段階から、イベントのノウハウを提供、当日も各ボランティア団体の発表会場として担いました。また、千種生涯学習センターの祭りに初めて関わり、まつりに色を添えることができたかと思います。

他、実演家と市民がともに作り上げる舞台公演を目指し、演劇ワークショップの開講や、前期から継承した事業も、小さいながらも新たな試みをするなどし、新たな挑戦をしてまいります。

文化芸術の振興となるよう、皆さんに愛される劇場を目指してまいります。これまでのご支援、ご協力に感謝するとともに、引き続き、よろしくお願い申し上げます。